

すばらしい日本の水道に感謝

行仁小学校 四年 加藤 大凱

ぼくは、世界地図を描くのが得意です。小さいころから地球ぎで遊んだり、世界地図を見たりすることがとても大好きなので、自然にそうになりました。

いつもあたり前のように見ている地球ぎの色はとても青いです。それは海であって水です。地球にある水のほとんどは海水で塩分をたくさん、ふくんでいるので、とてもしょっぱ

く人間や動物は飲む事はできません。また、海水をそのまま畑や花だんにまいても植物は育たないそうです。人間が飲んだり生活に使ったりできる水は「真水」だけだと本に書いてあるのを読んだことがあります。ぼくはその時真水という言葉を初めて知りました。そして、真水の中でも特に安心して利用できるのが水道水です。

ところが、世界にはかんたんに水道水が飲めない国があることを去年知りました。ぼく

はその時とてもおどろいたことを今でもはっきりおぼえています。飲む以外にも手を洗ったり、うがいをしたり、お風呂に入ったり、服を洗たくしてもらったり、花に水をあげたりと、毎日あたり前のように水道水をぼくたちは使っています。しかし、地球には水がたくさんありそうだけど本当に安心して使える水は実はとても少ないということが分かりました。

地球ぎを見てみると、日本のように国土が

せまく人口が集中していると水道のせつびもしやすいそうですが、面積が広い国はせつびを作るのが大変で、お金もたくさんかかるそうです。ぼくは今までたくさんの国の絵を描いてきました。が、国の面積が大きい小さいは分かっています。が、水道のせつびの事を考えながら国の絵を描いた事は一度もありませんでした。たしかに大きい面積の国の水道せつびを作るのは、とても大変なことだなと思いました。どの位時間がかかるのか、どの位お

金がかかるのか、ぼくには想像できません。
また、水道水のない国では生活に使う水を
子供が遠くの川や湖、井戸まで歩いてくみに
行くそうです。ぼくは毎日あたり前のように
学校に通っています。世界では水くみのた
めに学校に通う時間が無い子供達がたくさん
いることを知って悲しい気持ちになりました。
めぐまれた日本にうまれたぼくは水道水を
とても大切にしなければならぬとあらため
て感じました。

そこでぼくがこれから自分でできることを
考えてみました。手を洗う時は水を出しっぱ
なしにしない事、お風呂に入る時に使うシャ
ワ-の水を出しっぱなしにしない事など少し
気をつければできることはたくさんあると思
いました。家でも学校でも、どこかに外出し
た時でも、色々な場所で水を使う事があると
思います。ぼくは水を大切に使うと思います。
ます。

ぼくが考えた事以外にも水を大切に使う方

法はたくさんあると思います。友達や先生、身近な大人の人達にも何かいい方法はないか聞いてみたいと思います。水を大切にするとすばらしい方法を他の人達にも広め、世界中のみんなで水を大切にしたいと思います。そして、安心して使える日本の水道に感謝しながら水を使うようにします。